



11月号
(第384号)

武庫川女子大学
附属中学校・高等学校
広報課

「SDGs」を学ぶとは?

アカデミア探求部長 山田 千香子



校庭の木々が日に日に鮮やかな色に変わり、錦秋の候を感じられる時期となりました。ただ今年にはコロナ感染症のために、ゆっくりと四季の移つろいを感じることができない一年でした。本校では「SDGs」について全校生が学習していますが、コロナ感染症が広がり将来が不透明な時期だからこそ学ぶ意味があるのではないのでしょうか。

江戸時代の説話「一休咄」に、「一休さんが川を渡る」とあるのが、橋の中央を歩いて渡ったという話があります。この話で興味深いことは、「はし」ではない「中央」を歩いて渡るという方法が提案されていることです。例えば「泳いで渡る」は解決策かもしれませんが、泳げない人には無理です。「誰もあまり無理をせず」橋を渡ることができると、実はここに持続可能な解決法の考え方があります。渡るか渡らないかのような二者択一的な考えではなく柔軟な解決策、1回やったら終了の方法ではなく長続きできる解決策を考える必要があります。「このはしわたるべからず」では、誰がいつどんなことに困っているか、現在起きている問題をしっかりと知る。次に「はし」という言葉で「橋」と「端」が出るように、問題の原因がどこにあるのか正しく調べる。それらをきちんと調べた上で、「中央を歩いて渡る」ような誰もあまり無理をしないように、何をどう変更し具体行動にどう移すかリスク等も調べる。中学では、「SDGs」とは何かを正しく知ってその原因を調べ広く知識を得ると共に、いろいろな解決策も出てきますから深く考える力を身に付けてください。高校では、大きく6分野に分かれて具体的に解決方法を模索して行きますが、校外からスーパーアドバイザーの方々をお呼びして、柔軟な発想の解決策ができるようないろいろな視点から講義を受けています。又2年生はMSツアールとして各所に見学に行く予定にもなっています。これらの経験を基に、3年で「中央を渡る」ような、柔軟な発想の解決策が出てくるのではないかと期待しています。2030年以降も持続可能な世界ができるよう、共に考えていきましょう。

中学3年生「淡路島・琴平方面研修旅行」

感謝の気持ちを忘れずに

中3学年主任 廣瀬 仁美

行き先も時期も期間もすべて変更になった中学3年生の研修旅行でしたが、学年が一致団結し、保護者の皆さまや多くの方々のご理解とご協力のおかげですべての行程を無事に終えることが出来ました。感謝申し上げます。この研修旅行を通じて生徒たちはお互いに協力することや思いやりの気持ちを持つことなど多くのことを学びました。これからの学校

生活においても忘れることなく、残りの中学校生活を実りある日々にしていくことと思います。以下に、実行委員長の感想を紹介します。

中学3年研修旅行実行委員長 1組 中井 清香
私たち中学3年生は、11月5日から2泊3日で淡路島、香川県、岡山県に行きました。今回の研修旅行の準備期間と2泊3日は、私にとって一生忘れら

れないものになりました。

新型コロナウイルスの影響を受け、当初の予定とは行先が変更になったり、感染予防対策をしたりと普段とは違う形の研修旅行となりました。このような状況の中で行くということで、研修旅行へ行くまでの約一ヶ月間何度も実行委員会を開き、色々な対策を考えました。例えば点呼の仕方。たかが点呼ですが、声を出さずにかつ素早くできる点呼の仕方を、みんなで真剣に考えました。このような細かい部分でも適当にしないことを、意識しました。そして色々な場合を想定して、しっかりと対策を練った上で150人で研修旅行へと旅立ちました。

1日目は、イングランドの丘とパルシェ香りの館に行きました。初めて動いているコアラを見ることができたり、世界で一つだけの石鹸を作ったりと貴重な経験をさせていただきました。

2日目は、渦潮を見たりうどんを作ったりと自然や文化に触れた後に、金比羅宮までの785段の長い階段をみんなで登りました。みんなで励まし合いながら登った785段の階段の先には、とてもきれいな景色が広がっていました。

3日目は、鷲羽山ハイランドへ行きました。今までは苦手なジェットコースターでしたが、友だちと一緒に乗ってみると怖かったのですが、とても楽しめました。

今回私がこの研修旅行で改めて学んだことは、「友だち」という存在の大きさです。準備期間から最終日まで、一人ではできなかったであろうことがたくさんあります。そんなことでも、友だちと考えたり挑戦したりしてみると、案外自分が思っていたよりも簡単にできてしまうこともありました。今回の研修旅行でうまくいかなかったことも、かけがえのない友だちと助け合いながら、これからの学校生活に活かしていきたいと思っています。



中学2年生「出石研修旅行」

「ルールを守って思いっきり楽しもう」という目標を掲げ出石に赴きました。現地では、100年以

上の歴史を誇る歌舞伎劇場「永楽館」で落語を聴いたり舞台装置などを見学したりと普段見慣れない日本文化に触れるよい機会となりました。多くの生徒が初めて本格的に落語を聴き、日本の古典文化の素晴らしさに魅入っていたように思います。昼ご飯に、出石名物「皿そば」を堪能して、その後、出石の城下町を散策しました。班別行動をとりながら、アイスクリームやお饅頭を楽しむ姿や、ご家族や友達におみやげを楽しそうに買う姿が見られました。

また、学年目標の「友愛」と「自律」を胸に班で協力し合って事前学習で決めたルートを仲良く散策している様子から、生徒の成長をうかがうことができました。新型コロナウイルスでなかなか楽しい行事がありませんでしたので、生徒たちが、学校を離れて楽しんでる姿を見られたのはとてもよかったです。

また、CSは、MS探究活動として出石の後「豊岡コウノトリの郷」を訪れ、生態や飼育法を学習しました。熱心にレポートをとる姿が印象的でした。「遊び心も大切に」ということで、「めぎカップ杯」の名で、各班のキャッチフレーズ大会、俳句大会を行いました。おもしろいキャッチフレーズや俳句がたくさくあり、優秀賞を決めるのが大変でした。以下に最優秀賞を紹介します。



○キャッチフレーズ大賞 1組6班

「ス(笑顔)マ(学ぶ)

イ(いっぱい食べる)ル(ルールを守る)」

○俳句大賞 3組4班(F長さん作)

「紅葉と 班のみんなで はいチーズ」

令和2年度 公江特待生 決定

- 中学1年 二木 花音 藪内 美香
- 中学2年 松井 芽央 森岡こころ
- 中学3年 米田 有希 元浦 綺花
- 高校1年 蔭地 花音 大久保彩音 竹田かなう
- 高校2年 金 孝源 森田 汐音 土肥 楓奈
- 高校3年 除本 真理 磯部ひかり 渡邊かのみ

